

日本映画放送株式会社 第 75 番組審議会議事録

1. 開催年月日：令和 2 年 11 月 17 日（火）付
2. 開催方式：新型コロナウイルス感染拡大中につき、リポート提出という書面開催にて実施し、ご意見・質問を受け付けました。

3. 委員（順不同・敬称略）：菊地 実・鈴木 嘉一・尾形 敏朗・神田 由築・砂川 浩慶・
田保橋 淳・鳥居 美砂・西 正・宮崎 美紀子・山川 鉄郎

放送事業者：代表取締役社長	杉田 成道
常務取締役	佐藤 信彦
執行役員編成制作局長	宮川 朋之
編成制作部長	小川 英洋
編成制作部	小林 良弘
編成制作部	小野田 光美
編成制作部	三宅 歩
番審担当	堤 靖芳
	清水 明（記）

4. 議題

- （1）審議事項：時代劇専門チャンネル オリジナル番組
「華麗なる宝塚歌劇の世界～Season2～『ANOTHER WORLD』」
- （2）報告事項：日本映画専門チャンネル 特集
「戦後 75 年特別企画」

5. 議題（1）

昨年 7 月、時代劇専門チャンネルに登場した「華麗なる宝塚歌劇の世界」。“日本物”を半年にわたって放送し、視聴者からの好評を得た。今年 4 月、リクエストにおこたえし、“Season2”として時代劇専門チャンネルに再登場。初心者にも宝塚歌劇ファンにもご満足いただけるよう昨年同様、各組、世代、トップスターを幅広く網羅した作品をラインナップした。放送作品の前後には、見どころを紹介するナビゲート番組もご用意。8 月放送の『ANOTHER WORLD』では、本作に主演し、昨年に惜しまれつつ退団した元星組トップスター・紅ゆずるをゲストに迎え、大の宝塚ファンである番組案内人・中井美穂と熱いトークを繰り広げた。

【審議ポイント】

- 番組ならびに作品へのご感想やご意見をお聞かせください。
- Season1、Season2 と確実に加入を獲得し、好評を博したため、来期に Season3 を予定しています。それに向け改善すべき点や編成日時などについてご意見をお聞かせください。

6. 議題（１）審議内容 ※文中敬称略

- ・番組名どおり「華麗なる宝塚歌劇の世界」に引き込まれた。まず、落語を題材にしたミュージカル、しかもドタバタ喜劇調の会話や展開に驚かされた。関西弁をまくしたてる主演の紅ゆずるのコミカルな演技をはじめ、華やかで個性的な衣装、冥途歌劇団のレビュー、閻魔大王や鬼、桃太郎らが入り乱れるスペクタクルなどは理屈抜きに楽しめた。
- ・ラインダンスありキンキンキラキラ衣装とレビューファンにとって大満足。舞台中継は難しく、まして宝塚大劇場のような横長ステージは大変だが、アップもスイッチングもスムーズ。
- ・作品の持ち味である高速の関西弁は、加入者の多数を占める高齢者には聞き取りづらかったかもしれない。Season3 も時代劇見巧者の加入者が満足できる王道の和物を中心に据えつつ、作品の質を揃えたり、「王朝もの」「源氏物語」「柴田侑宏作品」「和の雪組特集」と狙いを定めた編成を考えてみてはどうだろうか。
- ・宝塚のコンテンツはテレビ向きである。中井美穂と紅ゆずるのトークがとても参考になった。特に裏話的な後解説が面白かった。解説が楽しめるのはテレビの魅力だ。
- ・一流の歌あり、踊りあり、うまい芝居ありで、感心した。しかし、作・演出、作詞・作曲、舞踊・振り付け、セット、衣装、照明などの、制作・製作どれもがどうも私の生理には合わないようである。
- ・番組案内役の中井美穂自身が宝塚ファンで話の展開が自然、ゲストもリラックスして話しているようだ。定番といえる構成なので、Season3もこのまま続けてほしい。
- ・当チャンネルの視聴者にもファンがいるのなら、半年間週一で放送するくらいなら良いのだろうが、時代劇専門チャンネルのコンテンツとしては違うようにしか思えなかった。
- ・Season3 に向けては、宝塚ファン以外も作品やトップスターに関する情報を得られるようにホームページを充実させ、番組内でも告知していただきたい。
- ・宝塚歌劇の奥深さを紹介する意味で、作品を和物に絞った選択は時代劇専門チャンネルにふさわしいと思う。
- ・すべての営みが“生きて頑張れ”という命の賛歌に収斂してゆく力強さにこそ、宝塚の夢と希望がある。一見ごちゃ混ぜの異分子を一糸乱れぬ統率によって見事にまとめ上げたうえ、江戸文化の深層を垣間見せてくれる——宝塚の日本物は、得がたい唯一無二の“時代劇”である。この企画は本当に素晴らしい。Season 3 も期待したい。

これに対して弊社からの回答は以下の通りであった。

- ・自分たちで新作時代劇をつくり続けるなど、新しいコンテンツ開発を常に考えてきた。コアファンを持ち、豊富な作品ストックを持つ宝塚も、新しいチャレンジの一つである。
- ・時代劇専門チャンネルに「宝塚歌劇団」は異色だが、昨年より２度にわたって企画を実施した。「テンポの速い大阪弁」については、弊社の字幕放送によって会話も歌の歌詞も明確になり、視聴のサポートとしてご好評をいただいた。このサービスが他チャンネルとの差別化になっていると自負している。

7. 議題（2）報告事項

【日本映画専門チャンネル 特集「戦後 75 年特別企画」】

何百万という尊い命が失われた太平洋戦争が 1945 年 8 月 15 日に終結してから、今年で 75 年という大きな節目を迎えた。太平洋を中心に激戦が繰り広げられ、国内でも多くの悲劇が生まれた。果たしてあの戦争で何が起こったのか。太平洋戦争とはいったい何だったのか。戦争体験世代がいなくなる時代が目前に迫るなか、戦争の記憶を次代へ語り継いでいかなければいけないと考え、チャンネルでは節目となる今夏、3 つの戦争特集（①8.15 終戦の日 未来に伝える 太平洋戦争の記録、②“太平洋戦争”島をめぐる戦い、③2 カ月連続 鶴田浩二と特攻隊～東映戦記映画傑作選～）を放送、視聴者からも大きな反響をいただいた。

8. 連絡事項

次回番組審議委員会は、2021 年 2 月 16 日 15 時より開催予定。